
◎町長行政報告

○議長（斉藤 重君） 日程第4、町長の行政報告を行います。

町長から報告の申出がありますので、これを許します。

（町長 齋藤文彦君 登壇）

○町長（齋藤文彦君） 平成24年松崎町議会第4回定例会の開会にあたり、謹んで行政報告を申し上げます。

平成24年も残すところ1カ月を割り、何かと気ぜわしい師走をむかえましたが、本年は突然の衆議院解散により例年以上に気ぜわしく、文字どおり国会議員の先生方は地方をくまなく走りまわっております。この審判が16日にくだるわけですが、地方の最小自治体である当町などは国の動向に大きく左右され、常に翻弄されてまいりました。安定した政権樹立を望むのは誰もが同じだろうと思います。

また、12月7日の夕刻に発生した東北地方での地震では宮城県に津波警報が発令され、昨年の3.11の悲惨さが脳裏を横切りました。幸いにして大事に至らず安堵いたしました。同時に当町における防災対策への対応に向けて早急に取り組む必要性を感じた次第です。

今後とも安心・安全なまちづくりに努めてまいりますので、議員各位のご理解、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

次に、9月以降の動向について概要を3点ほど報告いたします。

まず、1点目は松崎警察署の統合についてであります。松崎警察署と下田警察署の統合による松崎警察署の分庁舎化につきましては、当町議会第3回定例会において「松崎警察署の存続を求める意見書」を各関係各所へ提出していただいたところですが、その後町としましては静岡県町村会による県への要望事項として存続を要望し、また、10月12日には西伊豆町長と私と両議長とで、知事、県議会議長、県警本部長への存続要望を行ってきました。

その後、県警は11月15日に西伊豆町、松崎町の住民代表へ分庁舎化の説明会を開催しております。説明会では、「現場体制の強化、災害対策の強化のための統合である」との内容の説明でした。

次に、富貴野山21世紀の森分収育林についてですが、11月8日から東京会場をはじめ、4カ所で説明会を開催し、オーナーの皆さんに町の方針を示したところです。その状況等につきましては、後ほど担当から改めてご報告を申し上げます。

続きまして、第5次総合計画策定に係る地区説明会についてであります。現在、第5次総合計

画の策定をすすめております。その過程で概要がまとまったことから、その内容について説明するとともに、広く住民の皆さんのご意見を伺うため、町内4カ所で地区説明会を11月22日から行いました。4地区で106名の参加でありましたが、大変貴重なご意見を伺うことができました。今後、総合計画委員会をとおして、これらの意見を計画へと反映できるよう努めてまいります。

本日は「防災対策に係る県への要望活動について」他3件についてご報告いたします。

詳細は担当課長より申し上げます。

○総務課長（金刺英夫君） それでは、総務課から行政報告をさせていただきます。私どもの方では、防災対策に係る県への要望活動についてでございますので、よろしくお願いいたします。資料はN o. 1でございまして、要望活動を掲載しました新聞の掲載記事でございますので、ご覧いただければと思います。

去る11月22日に津波の浸水が予測されます区域の区長さん方と津波避難タワー建設の財政支援、それから要望、また、懸案となっております那賀川河口への水門建設と陸間の整備、防潮堤の強化などについて、県の危機管理部と交通基盤部へと要望活動を行いまして、それぞれの幹部の皆さまと意見交換を交えまして、直接要望をしてまいったところでございます。

県としましては、第4次地震被害想定を踏まえまして、津波避難への対応の検討や事業によりましては、国との調整もあるという課題もございますが、前向きに検討していくというような反応でございました。

この意見交換の後に、県知事ならびに副知事、それから、県議会議長、副議長を訪問しまして、副知事以外は不在でしたが、同じ内容の要望書を提出してきたところでございます。

今後も事業要望、財政支援など様々な分野での必要に応じまして今後も要望、陳情活動を続けていくことになろうかと思っておりますので、よろしくご理解のほどを賜りたいと思います。

簡単ではございますけれども、総務課からの行政報告とさせていただきます。

○企画観光課長（山本 公君） 引き続きまして、企画観光課から2件の行政報告をさせていただきます。

町営観光施設の入館状況につきまして、資料N o. 2でご説明させていただきます前に、はじめに本日追加で配付をさせていただきました平成24年11月末の町営観光施設の状況（速報）からご報告をさせていただきたいと思っております。おそれ入ります、今日配付の1枚の資料をご覧くださいと思います。こちらの速報の関係の右側の累計の部分で、24、23年度の比較でご説明をさせていただきます。

まず、はじめに、伊豆まつぎき荘でございますが、1660 人の増でございます、1 万 3762 人ということで、24 年度はなっております。長八美術館でございますが、前年対比 2601 名の減で 2 万 3571 人、重要文化財岩科学学校、前年対比 703 人の減、1 万 5447 人、明治商家中瀬邸、前年対比 206 人の減、1 万 3346 人、民芸館、道の駅花の三聖苑につきましましては、売上比較でご説明をさせていただきたいと思います。まず、民芸館でございますが、前年対比 107 万 3790 円の増、995 万 7119 円、道の駅花の三聖苑、前年対比 734 万 623 円増の 1762 万 3658 円という結果でございます。かじかの湯につきましましては、前年対比 683 人増の 2 万 55 人という結果になりました。

11 月単月の状況が左の欄にございますが、伊豆まつぎき荘、かじかの湯以外につきましましては減少となりました。累計においては入館施設で前年に比べまして減少の状況がみられるところでございます。

引き続きまして、資料 No. 2 の方をご覧くださいと思います。各施設の入込状況につきましましては、ただいま申し上げました速報が最新となりますので、ここでは 10 月の収支状況につきまして、ご報告をさせていただきたいと思います。

まず、1 ページ目の伊豆まつぎき荘の収支状況につきまして、右側の累計をご覧くださいと思いますが、収益計で 1 億 5923 万 4000 円、前年度より 1555 万円増となっております。110.8 パーセントでございます。公債費、減価償却費を按分して加えた費用でございますが、1 億 6663 万円で 722 万 5000 円の増、104.5 パーセントとなりました。

按分利益につきましましては、前年度より 832 万 5000 円改善されておりますが、依然マイナスとなっております、マイナス 739 万 6000 円でございます。

続きまして、2 ページをお願いいたします。長八美術館でございますが、収支差額マイナス 602 万 4000 円で前年度よりマイナスが 262 万 2000 円増加いたしました。

重要文化財岩科学学校でございますが、収支差額マイナス 232 万円、前年度よりマイナスが 89 万 8000 円増加いたしました。

引き続きまして、3 ページをお願いいたします。明治商家中瀬邸でございますが、収支差額マイナス 223 万 6000 円で前年度よりマイナスが 43 万 2000 円増加しております。民芸館でございます。収支差額マイナス 46 万円で前年度に比べて 236 万 4000 円の改善となりました。

最後に、4 ページになります。道の駅花の三聖苑につきましましては、マイナス 308 万 3000 円となり、前年度よりマイナスが 58 万 2000 円増加しております。

10 月の累計をみますと、伊豆まつぎき荘、民芸館で前年度より収支が改善されたものの、依

然全施設で収支がマイナスとなっております。

今後も観光関係団体等との連携によりまして、誘客対策を進めまして振興公社とともども頑張っ
てまいりたいと考えておりますので、ご理解、ご協力のほどをお願い申し上げまして、町営観
光施設の入館状況につきましてのご報告をとさせていただきたいと思います。

引き続き、資料No. 3でございます。富貴野山21世紀の森分収育林事業の進捗状況につき
ましてでございます。

平成27年、28年に契約満了を迎える富貴野山21世紀の森分収育林事業への対応につきま
しては、これまで議会全員協議会において、これまでの契約を破棄し、育林費用50万円をオー
ナーの皆さんに返還したい旨のご報告、ご協議をさせていただいたところでございます。

10月29日開催の議会全員協議会の際にご説明をさせていただきましたオーナーからの回答
でございますが、その後247世帯中245世帯からご回答をいただきまして、未回答は現在のと
ころ2世帯となっております。未回答者につきましては、引き続き連絡あるいは所在調査をし
てまいりたいというふうに考えているところでございます。

また、ご回答をいただきました245世帯のうち、243世帯は町の方針に承諾をいただいております
まして、回答保留の2世帯につきましては現在確認を進めているところでございます。

なお、説明会に出席を希望されましたオーナーの皆さまに対しまして、11月18日・東京、11
月22日・松崎、23日・静岡、三島で説明会を開催させていただきまして、47名のご出席をい
ただきました。説明会では町の案に対する反対のご意見はございませんでした。

なお、今後の予定でございますが、年度中に育林費用の返還に関する合意書の締結を行いま
して、平成25年度一般会計予算にオーナーへの返還金の予算を措置いたしまして、4月以降に
返還に係る手続きをさせていただきたいというふうに考えております。

以上、企画観光課の方から2件につきましてご報告をさせていただきました。

○生活環境課長（斉藤昌幸君） それでは、生活環境課から4番の公営企業会計平成24年10月
末の経営状況について報告させていただきます。

はじめに水道事業会計でございます。収益の方でございますが、営業・営業外トータル合計の
収益が本年度8984万円ということで、昨年との対比で170万7000円、1.9パーセントの減とな
っております。理由としましては、備考欄にもございますとおり10月末現在の有収水量につき
ましては58万7686㎥でございまして、営業用は増加しておりますけれども、一般が減少して
おりますので、前年比1万2667㎥、2.1パーセントの減となったことにより収益面の減となっ
たものでございます。

一方、費用面でございますけれども、営業・営業外費用の合計が 2769 万 6000 円、それから、予定費用、減価償却費が 3524 万円、支払利息及び企業債取扱諸費が 1426 万 7000 円ということで、費用合計の方が 7720 万 3000 円ということで、前年比 486 万 7000 円、106.7 パーセントと 6.7 パーセントの増となっております。

理由としましては、備考欄にもございますとおり、水質検査の委託料その他修繕料等も増えたものでございまして、前年比が 486 万 7000 円、6.7 パーセントの増となったということでございます。さらに、特別損失 32 万 6000 円を加えまして、今回営業利益の収支の差引の利益が 1231 万 1000 円ということで、前年比 690 万円、64.1 パーセントという結果となっております。

続きまして、温泉事業の方でございます。収益面の方でございますが、営業・営業外を含めまして 3648 万 5000 円、前年比 35 万 8000 円、101 パーセント、1 パーセントの増でございます。こちらにつきましては、備考欄にもございますとおり収益面において昨年改修工事のため中止となっていた海洋センター分が増加したことや国債、他会計貸付金の利息収入があったことにより 35 万 8000 円、1 パーセントの増となったものでございます。

一方、費用面の方でございますが、営業・営業外の費用が 1107 万 2000 円、さらに予定費用の減価償却費が 2106 万 4000 円ということで、トータル費用が 3213 万 6000 円で前年比 17 万 9000 円、100.6 パーセントで 0.6 パーセントの増となっております。こちらにつきましては、人件費の増加などにより前年比が 17 万 9000 円増えたものでございます。

この結果、差引純利益でございますけれども、本年度 434 万 9000 円ということで前年比 17 万 9000 円の増、4.3 パーセントの増となっております。

以上で 10 月末現在の公営企業会計の経営状況についての報告を終わらせていただきます。

○議長（斉藤 重君） 以上で町長の行政報告を終わります。

暫時休憩いたします。

（午前 9 時 21 分）
